

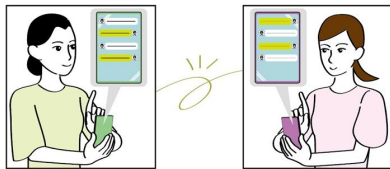
どんな研究	社会生活での他者との関係性（社会関係性）は幸福の認識に大きく影響します。専門性を持たない人でも 自分の社会関係性を簡単かつ安全に把握できるしくみ を、Web3を利用して実現することをめざしています。
どこが凄い	SNSなどでのやり取り頻度や応答時間などのデータをWeb3の技術を応用して分散管理し、ある個人の特定の範囲におけるいくつかの社会関係性（複数の人間関係の状態）を安全に可視化します。 やり取りの本人も把握しづらい複雑かつ動的な人間関係を安全・簡便に取り扱 えます。
めざす未来	社会関係性を可視化するしくみは、各個人に合わせた人的環境を設計しやすくします。新しいしくみによって、 自分自身にとってWell-beingに生きられる社会関係性へ近づく行動を私たちが自律的にとれる ようになれば、親子関係や地域共同体の新しい形なども生みだされる可能性があります。

社会関係性プラットフォーム(Social relationship platform; SRP)

- SNSを含む様々なやりとりの時系列データをもとに人間関係を記録・可視化するデータ基盤
- 多様化が期待される、子育てや地域社会の活性化などに貢献

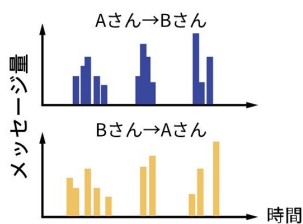
関係特徴データの生成

SNSなどでのやりとり



やりとりの内容ではなく、やりとりの時系列に注目

内容非依存の時系列データからやりとりの特徴量を算出

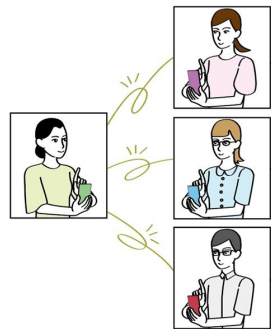


A-Bさんのある時期T1のやりとりの特徴量

$$F_{T1_AB} = (a1, b1, c1, \dots)$$

- どちらから始める？(a1)
- どのくらいの頻度？(b1)
- レスpons時間？(c1)

関係特徴データの記録



ブロックチェーン等による適切な分散管理で記録の改ざん防止・プライバシー保護

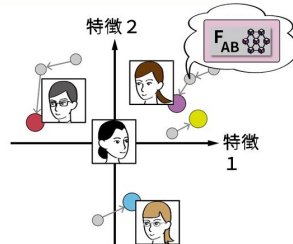
A-Bさんの関係特徴データ

A-Cさんの関係特徴データ

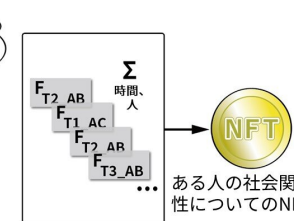
A-Dさんの関係特徴データ

- 各個人の関係特徴データをブロックチェーンなどのWeb3技術で安全に分散管理

関係特徴データの活用



関係性の可視化



関係特徴データのNFT化

ある人の社会関係性についてのNFT

- 関係特徴データの適切な可視化で、Well-beingに資する社会関係の自律的な構築をサポート
- 関係特徴データのNFT化により、ある個人を取り巻く人間関係の価値定量化・社会への有効活用につながる

関連文献

[1] 丸谷和史, “子育て環境の多様化に対する一般的イメージ,” 日本心理学会第87回大会, 2023.

[2] 大橋盛徳, 前田至剛, 岸上順一, “オンライン社会関係資本の結束型と橋渡し型のバランスに影響を与える要素に関する研究,” 情報科学技術フォーラム2023, 2023

連絡先

丸谷 和史 (Kazushi Maruya) 人間情報研究部 感覚表現研究グループ